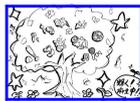




かがやく麻生中!

令和8年2月20日発行 第57号
行方市立麻生中学校
住所:行方市南327-3
電話:0299-80-8070



自分の思いや考えを表現し課題解決しようとする(語り場 学び場 麻生中)

～「早寝早起き朝ごはん」国民運動20年～

早寝早起き朝ごはん国民運動は平成18年頃、児童生徒の体力の低下や学級崩壊の増加が社会的な課題として認知され、その背景に生活リズムの乱れがあるという指摘があり、開始された運動です。本校においても、基本的な生活習慣の定着に向けて、本運動に取り組んでいるところです。睡眠時間の確保、スマホ・ゲームの使い方に関する家庭でのルールづくりなど、基本的な生活習慣づくりについて、家庭や地域と連携しながら実施し、生徒の保健・健康・安全についての取組を推進・充実してまいります。



～朝活「麻生ボックス」～

2月より朝の活動の時間を活用して本校職員が中心となり週2回「麻生ボックス」を実施しています。麻生ボックスは、文部科学省が授業改善の視点で示している「主体的・対話的で深い学び」の推進・充実に向けて取り組んでいる事業です。

本事業の目的は、生徒同士の対話により思考を広げ深めながら、深い意味理解をしたり、新たな価値を創造したりすることです。

この時間は、「仲良しとは?」「正義とは?」「公正とは?」「自分らしさとは?」等、様々なテーマについて自他の思いや考えを広げたり深めたりしながら対話的に学んでいきます。今後、生活や経験、実社会において疑問に感じたこと、探究してみたいテーマを生徒自ら発見し主体的・対話的に課題を解決できるよう支援してまいります。

本事業は本校グランドデザインの組織目標「自分の思いや考えを表現し課題を解決すること」に関連を図っています。また、自分の思いや考えを表現するための基盤となる心理的安全性の確保のための「聴き合う関係性(どんな不確実で曖昧な、とつとつとした表現をも傾聴したり受容したりする関係性)」、多様性の尊重が基盤にあります。聴き合う関係性を基盤とし「聴くつなぐ もどす」という手法を活用しながら、よりよい課題解決を図っています。「聴く」は、聴き合うことをとおして自他の思いや考えを自己選択すること、「つなぐ」は、つなぐことをとおして自他の思いや考えを共有すること、そして、「創造」は、自他の思いや考えを広げ深めることをとおして新たな価値の創造や言語の深い意味理解につなげていくことです。

今後、次年度のPTA総会の折にデモンストレーションを実施する予定です。また各教科の通常の授業にも落とし込みながら「主体的・対話的で深い学び」の実現を目指してまいります。



～英語教育AI活用推進事業・茨城県健康推進学校～

令和7年度英語教育AI活用推進事業に係るモデル校としての取組について、茨城県教育委員会より感謝状が贈呈されました。中心となってAIを活用した英語授業に取り組んだ2年生、そして本校英語科教職員の成果が認められたこと、うれしく思います。また、本校の保健教育への取組が認められ、茨城県教育委員会より「茨城県健康推進学校」として優秀賞が授与されました。生徒の保健・安全への意識の高さ、養護教諭や保健主事を中心として取り組んだ内容が認められたことについて、素直にうれしく思います。

保健教育は家庭と学校の連携によって健康な心と身体を培うことができます。保護者の皆様の家庭での健康づくりに感謝するとともに、今後とも、生徒の健康・安全への取組について、ご理解とご協力をお願いいたします。

